

学校教育目標	生活のリズム（望ましい睡眠・食事のあり方、メディアとのつきあい方）、生活習慣（身だしなみ、清潔感、整理整頓）を定着させ、自主・自立の精神を養い、共生の精神を尊重する人間関係づくりを構築し、学力向上をめざす。											
重点努力事項	(1) 生活リズムや生活習慣を身につけさせ、学習規律や学習態度の確立、学習習慣を定着させることによって、基礎学力の向上をめざす。 (2) 人間関係を育む学級経営、学習指導、学校行事、生徒会行事、部活動を通して、「学校が楽しくて満足している」と実感できる、共に生きる集団づくりをめざす。 (3) 生徒一人ひとりが、価値ある存在として実感することができ、自分の生き方に希望や誇りをもって、「社会とどう向き合い、社会とどう関わっていくか」を形成し、自己実現を図っていくことができる学校づくりをめざす。											
分掌重点目標	規則正しい生活習慣を定着させるとともに、ルール・マナー・モラルの向上と地域へに貢献する意欲を高める。											
二学期への提言 Action	分掌がめざす 生徒の姿	分掌目標 Plan	主な活動 Do	活動へ向けての努力事項 Do					到達目標	評価基準(Check)	成果と課題 Do&C heck	三学期への 提言 Action
				9月	10月	11月	12月					
就寝時刻を早めて（23時まで）、睡眠時間を増やす努力。→メディアとの付き合い方の啓発（NOメディアDAYに変更する。）	・・・ 自明ル自人 他るゝ分に をいルを喜 価挨を大ば 値拶守切れ あゝりに る節・し人 存度マゝに 在あナ他役 とるゝ人立 しきをををつ てび身大自 実きに切分 感びつにが ししけす好 たゝるき 共行モ自な に動ラ分生 生がルが徒 きとの好 るれあき ゆるるな 間自自生 と分分徒 しがが て好好 活きき 動きな で生生 き徒徒 る生 生徒	〇〇〇 達ル規 成ゝ則 感ル正 ・ゝし 役マゝい 立ナ生 ちゝ活 感ゝ習 をモ慣 得ラと らル規 れの律 る確を 活立定 動を着 をめさ 増させ やす す	生活指導	・テスト週間での下校指導 ・合服への全体指導 ・テスト週間での下校指導 ・冬服への全体指導 ・冬休み休前指導 生活習慣の徹底。特に就寝時間を意識させる指導を行う。 情報モラルの意識を向上させる。 生活振り返りアンケート実施→分析					〇早寝・早起き・朝食をとることを生徒・保護者に意識づけ、習慣化をめざす。 〇テレビ視聴時間やパソコン・ゲーム時間を自己管理できるようにさせる。	〇生活振り返りアンケート 「1日の睡眠時間」7～8時間が80％。 「就寝時刻」0時以降が20％以下。 「起床時刻」6時半頃までが60％以上。 「朝食をとる」が90％以上。 「平日のTV視聴」2時間までが65％以上。		
食育だよりを確実に保護者に渡るようにする。→レシビをいれるなどする。			食育指導	・鳥取県民の日 ・目の愛護デー 食生活アンケート実施→分析 生活振り返りアンケート実施→分析 給食時の指導、食育掲示の実施 献立表、食育だよりによる啓発活動					〇健康と食事の関わりを理解する。 〇栄養の偏りなく食事しようとすることができる。 〇保護者が食育の重要性について理解する。	〇食生活調査 「朝食で主食・主菜・副菜がそろっている」28％以上 「普段から苦手なものでも頑張って食べている」50％以上 〇保護者質問紙 「学年・学級便りや連絡文書をよく読んでいる」肯定的意見90％以上		
評価基準を生活指導と合わせる→睡眠時間を7時間以上（就寝時刻を23時までにする）75％以上 夜の歯磨き習慣を実施			健康安全指導	・貧血検査(8/26) ・学校保健委員会(9/11) ・目の愛護デー ＜テレビ・パソコン・ゲーム時間と目の健康指導＞ ・喫煙防止教室(1年) ・いのちの出前授業(2年) ・いのちの出前授業(1年) 熱中症の予防措置 健康観察の徹底 インフルエンザの予防の指導を徹底する ・うがい手洗い指導の徹底・健康観察の徹底・濃厚接触者の健康管理 歯みがき強化週間の実施					〇生徒に「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣の定着を図る。 〇給食後の歯みがき、夜の歯みがきの習慣付けをし、さらにていねいにみがくよう意識づける。	〇生活振り返りアンケート 「朝食をとる」が90％以上 〇睡眠時間を7時間以上（就寝時刻を23時までにする）75％以上 〇夜の歯みがき3分以上60％		
不適応の新規発生をなくす。→早期対応			不適応対策 教育相談活動	2学期当初教育相談アンケート → 不適応対策委員会 (運動会終了後の状況や変容について) 2学期中間教育相談アンケート → 不適応対策委員会 (文化祭終了後の状況や変容について) スクールカウンセラーとの連携(特に保護者に対しての助言、方向付け)					〇不適応傾向のある生徒について、状況と変容の把握に努め、未然防止に努める。 〇2学期に2回実施する教育相談アンケート等により、不適応ではないがその心配のある生徒の把握に努め、迅速に対応する。	〇全校教育相談アンケート「不安なこと、困っていること、心配なこと」を挙げることのできる生徒50％以上 〇教職員質問紙「学校不適応対策は委員会を中心に計画的に実施されている」肯定的意見90％以上		
継続して90％以上を目指す →支援計画の見直しをして、関係職員（教科担当など）との連携を実施			特別支援教育	第2回支援委員会 第2回校内就学指導委員会 LD等専門員巡回相談委員会 各種関係機関との連携					〇「個別の支援計画」に基づいて教職員が連携して個別支援を行うことができる。	〇教職員質問紙「一人ひとりの生徒に対し綿密な特別支援教育が実施されている」肯定的意見85％以上		
情報モラルの問題を授業計画に入れること。			道徳教育	2－(3)高めあえる友情 4－(4)集団生活の向上 4－(3)差別や偏見のない社会 4－(4)集団生活の向上 副読本の計画的活用により、自尊感情を高めていく指導にあたる 学校行事を通して、集団での存在意義を意識させ、社会の形成に主体的に参画する態度を育てる					〇生徒が自ら考え、判断し、行動しようとする意欲が高まる。 〇礼儀の意味を理解しその場に応じた言動がとれる生徒が増える。 〇自他の生命を尊重する態度を養う。 〇秩序と規律を重んじ、自他への配慮と思いやりを大切にすることを育てる。 〇情報モラル教育を推進する。	◇生徒質問紙『私は先生や友だちから大切にされている』の項目で、肯定的意見90％以上（昨年92％） ◇生活振り返りアンケート『学校生活の中で、生徒同士で声かけをして問題を解決する活動ができたか』の項目で、肯定的意見90％以上（昨年86％） ◇生徒質問紙『1学期望ましい人間関係をつくることのできて楽しかった』の項目で、肯定的意見95％以上（昨年94％）		
人権標語の取り組みを通して、豊かな人権感覚を養う一助とする。			人権教育	・2学期学級開き ・2学期学年開き ・人権標語 各学年人権学習 1年 共生の社会をめざして 2年 元ハンセン病患者の方に学ぶ 3年 在日外国人と人権 学校行事の中で自他を認めあう仲間作りや対立場面で相手を尊重しながら自分の意見を主張・交渉する技能を養う。 人権アンケート 岩美町人権教育を通して生徒たちに育てたい資質・能力を意識した日々の実践の積み重ねを行う					〇自分の思いを表現し、人の思いを受け止めながら、落ち着いた生活を実践することができる。 〇相手との対等な関係を考えながら会話・行動しようとする事ができる。			
曜日ごと重点掃除箇所を決めて取り組ませる。			環境美化	・重点掃除箇所の確認と実施 ・曜日ごとの重点掃除の徹底 ・掃除道具の点検 ・環境緑化活動 ・節水・節電・無言掃除への取り組み 委員会の取り組みを全校生徒に反映させるための支援体制をつくる					〇積極的に清掃活動に取り組む生徒が増える。 〇緑化ボランティアの増加 〇生徒の活動により、テスの意識が高まる。	◇生徒質問紙 「テスを意識している」の肯定的評価かが84％以上（昨年82％）		